

# Tr A級プッシュプルアンプ

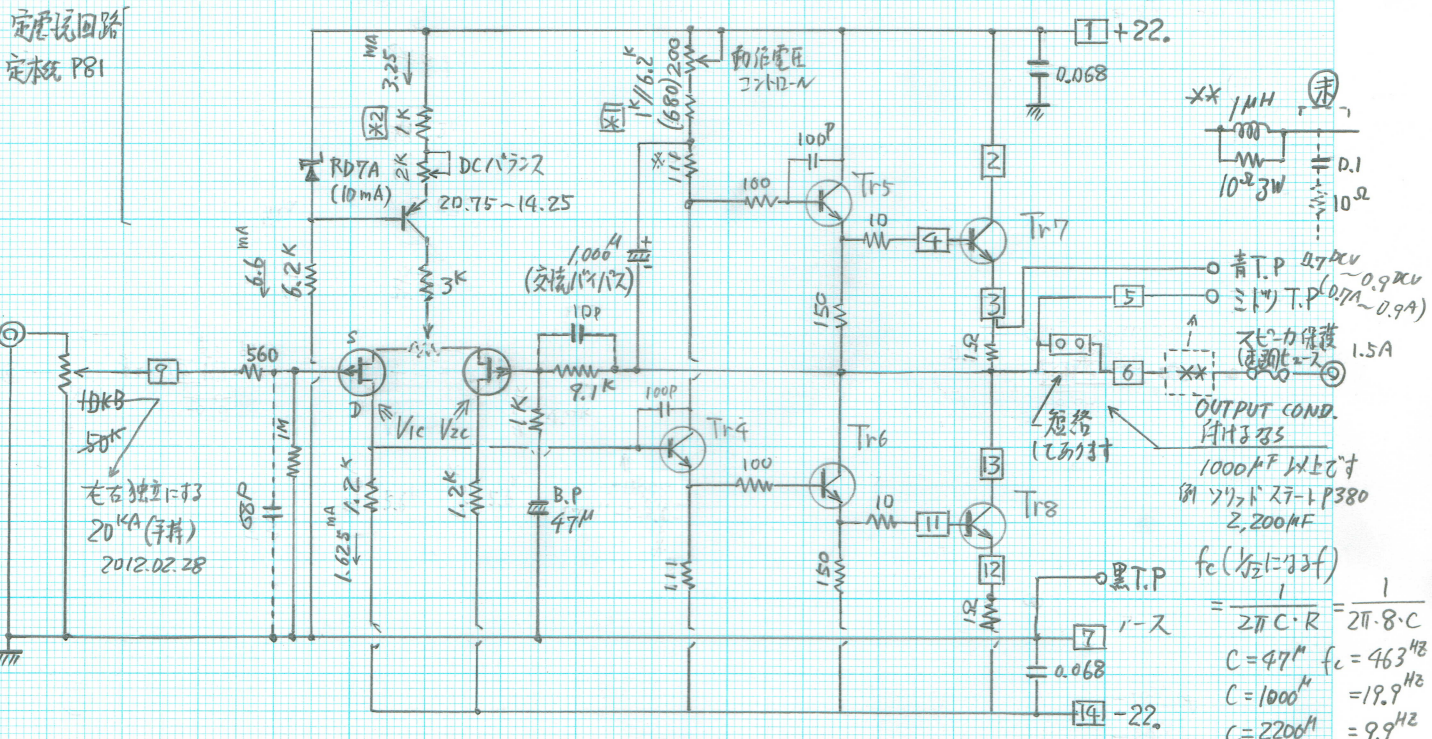
SEPP回路とは片側が動作する時は他方は休止の回路を言うべく  
 通常はNPNとPNPのコンプリアメンタリTr(下図でTr5とTr6)を使うものと言う。  
 本機はTr4とTr5-Tr6でSEPPと同様の動作させている。

2012. 02. 28  
 04. 17  
 03. 09  
 2011. 01. 05 (R)と完成  
 12. 31/12. 30  
 12. 27 pin5と青T.P,黄T.P  
 2010. 12. 10 □と改造  
 2010. 10. 30 初級部JFETの変更  
 2010(H22) 10. 29 見取り  
 1974(S59). 08. 24

( )内はR,  
 ( )外はL・R同じ

A640 ← MJA1000A  
 2SJ75 GR-V7 2010. 10. 31 ¥500.  
 C1Z12A C1Z12A C898  
 C1Z12A C1Z12A C898

1973. 06. P313 青田A級アンプ  
 を改



青T.P 0.7DCV ~ 0.9DCV  
 黄T.P 0.7A ~ 0.9A  
 スピーカ保護 (過熱防止) 1.5A  
 OUTPUT COND. 4700μF  
 1000μF以上が好ましい  
 例) シリコンチップコンデンサ P380 2,200μF  
 $f_c (\frac{1}{2}) = \frac{1}{2\pi \cdot C \cdot R} = \frac{1}{2\pi \cdot 8 \cdot C}$   
 $C = 47\mu F \quad f_c = 463 Hz$   
 $C = 1000\mu F \quad f_c = 19.9 Hz$   
 $C = 2200\mu F \quad f_c = 9.9 Hz$

\* (111) は 200Ω 抵抗を同一値の抵抗に使用のこと

2010 10. 29  
 2SC898 のデータ (内線類) は入手済み  
 PA, SiT, 150, V<sub>ceo</sub>: 5, I<sub>c</sub>: 7A, P<sub>c</sub>: 80W (T<sub>c</sub>: 25°C), T<sub>j</sub>: 150, h<sub>fe</sub>: 50, V<sub>ce</sub>: 5, I<sub>c</sub>: 1A, f<sub>t</sub>: 15, C<sub>ob</sub>: 140pF (H18)

DCバランス・動電圧コントロールの取り方  
 上記両バランスコントロールは相互に影響を及ぼします。従って両VRに隣接する抵抗 [X1], [X2] は下記1と2を1つずつ決定していただきます。

1. 動電圧コントロール VR で  
 Power Tr (Tr7, Tr8) の電圧値を設定する  
 Tr7: T.P と出力の電位差 < T.P と同じで 外部から測定できるように。  
 Tr8: T.P と -24V の電位差 ↑  
 -24V
2. DC バランスで  
 Tr1: V<sub>ic</sub>  
 Tr2: V<sub>zc</sub> } の電位を同じにします。

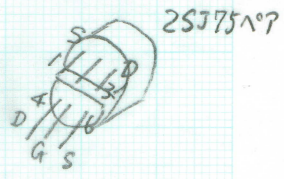
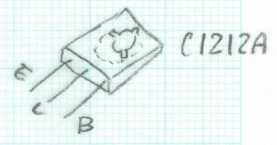
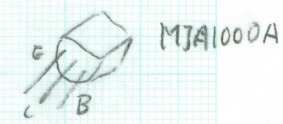
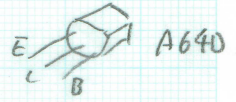
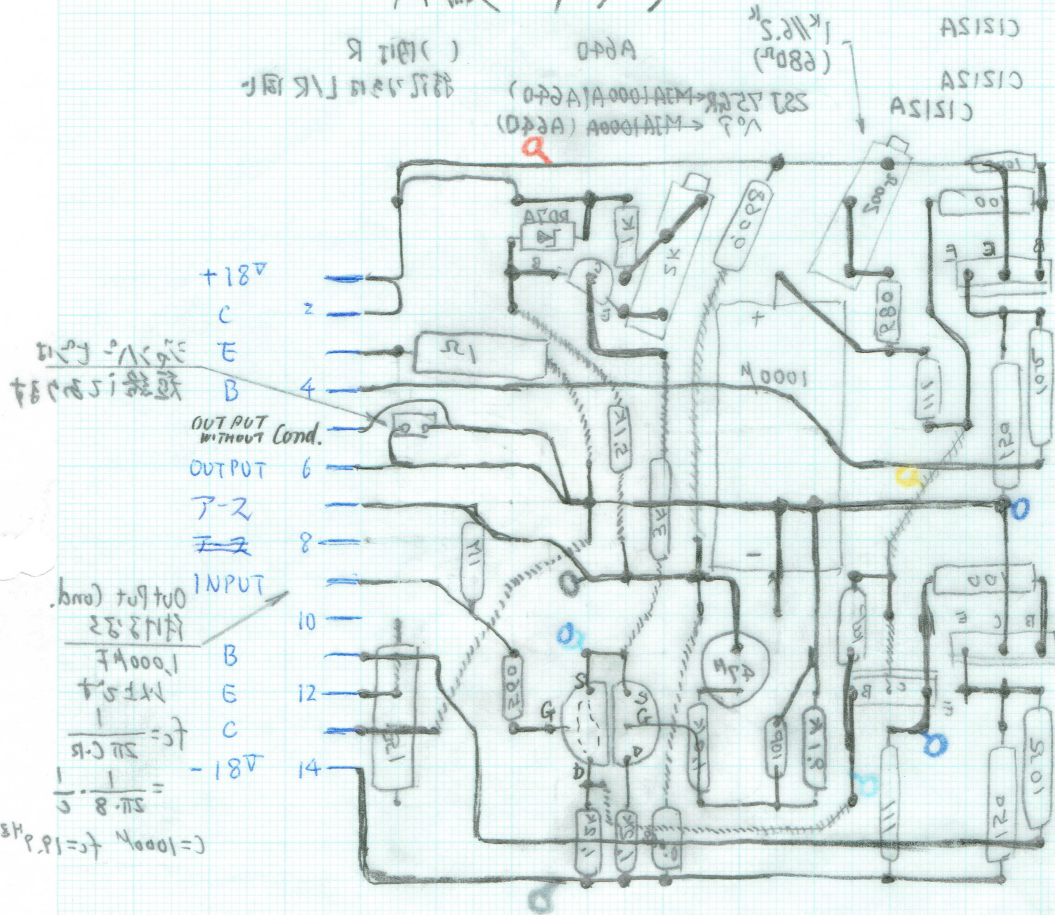
2SJ00 定本統 (1992)  
 2SJ105 GR (2.6~6.5) → Y (1.2~3.0) と表示が有

# A級 アンプ

2011.01.05 完成  
 12.31  
 12.30  
 12.27 Pin5  
 2010.12.10 改良後  
 11.22 アンプ ← 図  
 2010.10.29 補正

1980(555)10.11 完成

1974(549).08.24 配線増



+18V  
 C 2  
 E 4  
 B 4  
 OUTPUT WITHOUT COND.  
 OUTPUT 6  
 アンプ 8  
 INPUT 10  
 B 12  
 E 14  
 C 14

INPUT  
 10  
 B 12  
 E 14  
 C 14

参考回路 一技 1973.6 P313 寺田  
 TR A級アンプ (補正 2010.10.28)

# Tr A級アンプ @ A級機 電源回路

2011. 01. 10 完成

